

ICTを活用した地域医療連携ネットワーク 推進に向けた取組

－横浜市独自ガイドラインのご紹介－

横浜市ではICTを活用した地域医療連携ネットワークの構築推進に取り組んでいます。この度、本市の取組を推進するための内容をまとめたガイドラインを策定しました。

方向性を整理しました

大都市横浜で地域医療連携ネットワークの構築をどのように推進すべきか、国や他都市の取組、市内へのアンケート調査などを基に、有識者や市内医療関係者の皆様と検討を重ねてきました。その上で、地域ごとに構築されるネットワークを相互連携しながら全市展開する手法としています。

有識者の声

東北大学大学院医学系研究科 中山教授 (MMWIN)

非常によく調べられてまとめられている。俯瞰した観点で共通の指針があることは良いこと。自治体の理解が必須の事業である。

佐渡総合病院 佐藤病院長 (さどひまわりネット)

ガイドラインは素晴らしい着眼点。今後は医療・介護・福祉関係者、行政の理解と積極的関与による更なる展開に期待。

長崎大学病院 医療情報部 松本准教授 (あじさいネット)

大変よく練られたガイドラインであり、これから導入する医療機関や地域は特に参考になると思う。今後の発展にも期待したい。



市ガイドラインの概要は裏面をご覧ください



横浜市
医療局

Web サイトでガイドラインの最新情報を！

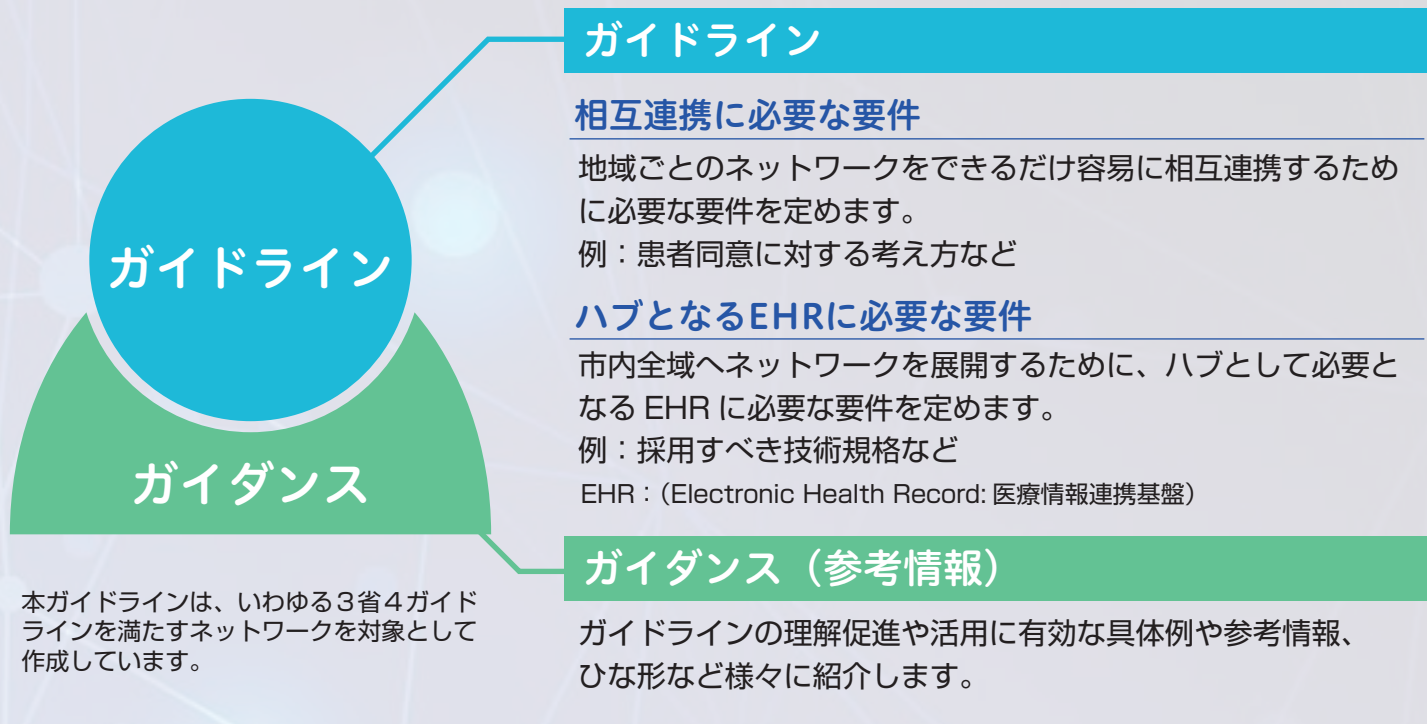
<http://www.city.yokohama.lg.jp/iryo/ict/guideline/>

スマートフォン等からのアクセスはこちらのQRコードから



ガイドラインの概要

本ガイドラインは、横浜市の推進手法や考え方を紹介するとともに、要件を定める“ガイドライン”と参考情報を紹介する“ガイダンス”の2部構成です。



改善しながらより良い内容へ（ガイドラインの特徴）

本ガイドラインは、国や地域のトレンド、有識者の助言などにより、適宜、修正や情報追加を行うことを前提としています。

※最新の情報を常時共有するために、ガイドラインはホームページ上でのみ公表しています。

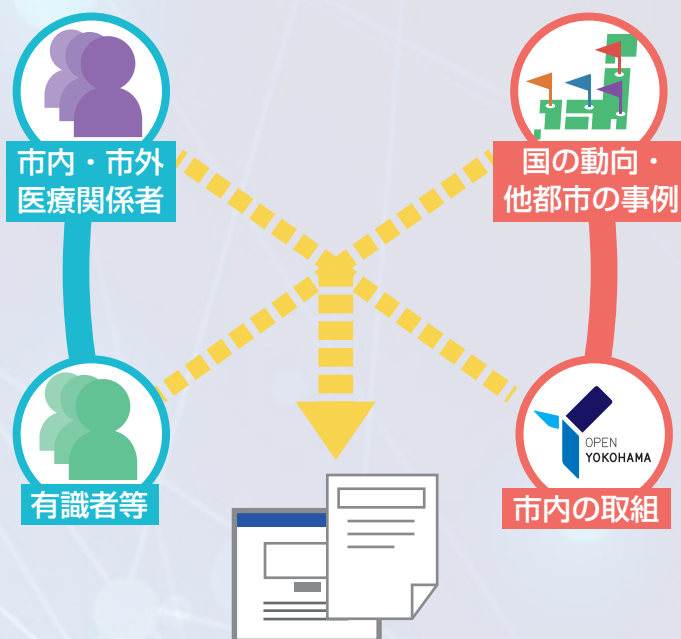
広く意見を募集

ホームページのフォームからガイドラインに対するご意見や提案が可能です。

適宜、修正追加

いただいた意見などを基に、全体の整合性やタイミングなどを踏まえながら、適宜ガイドラインに反映します。

なお、意見を踏まえて更新が行われたことがわかるように公表します。



市で意見を集約し反映・webサイトで公開

横浜市医療局 ICT を活用した地域医療連携ネットワークガイドライン

<http://www.city.yokohama.lg.jp/iryo/ict/guideline/>

スマートフォン等からのアクセスはこちらのQRコードから

